

2020年ドバイ国際博覧会 最新情報

序文と概要

2020年ドバイ国際博覧会（万博）の準備作業は、2017年に入って以降、関連する最重要プロジェクトを期限内に確実に完了させるべく進行している。2500万人の来場が予想されるドバイ市は、万博会場の建設を適時かつ確実に終えることに加え、多くの来場者の受け入れに必要なインフラや作業を求められることとなる。本レポートは、2017年1月に作成した「2020年ドバイ国際博覧会ビジネスの枠組みとチャンス」レポート以降の改定事項、新たな動向とプロジェクト等をまとめたものである。

イベント全体が会場の完成にかかる。
2020年万博会場
そのものと周辺開発
が最優先事項

ドバイでは2020年の万博に先立ち、各地域を整備するさまざまな計画があり、メディアは万博開幕前に完了予定の新たな計画を次々と報じている。しかし、中にはあまりに大掛かりと思われるプロジェクトもあり、予算や市場の不透明さを考慮すると、すべてのプロジェクトが最終段階まで進む、または予定通りに完了するわけではないこともあり得る。それでも**ルート 2020 (Route 2020)** と呼ばれる**ドバイ地下鉄延伸 (Dubai Metro Expansion)** プロジェクトなど、2020年万博の順調な運営につながる大部分のプロジェクトは優先的に進行するだろう。その一方、万博会場から遠く離れた場所にある新たなショッピングモールやテーマパークなどの周辺プロジェクトに関しては、遅延や後退が増える可能性がある。

イベント全体が会場の完成にかかっており、すべての展示会は同会場内で開催されるため、今後も2020年万博会場そのものが最優先事項となることに変わりはない。会場内は「**オポチュニティ (機会)**」「**サステナビリティ (持続性)**」「**モビリティ (流動性)**」の3つのテーマエリア (**Thematic District**) が、中央の**アルワスル・プラザ (Al Wasl Plaza)** でつながることとなる。このように2020年万博のデザインは最終決定したが、建設工事はまだ開始されていない。会場運営には電力も必須であり、**ムハンマド・ビン・ラッシード・アル・マクトゥーム太陽光発電所 (Mohammed bin Rashid Al Maktoum Solar Park)** を活用して、消費電力の50%を再生可能エネルギーで創出することを目指している。

こうしたプロジェクトの多くは2017年中に本格化する見込みであり、新規入札が行われ契約が発注されることとなる。

2020年ドバイ国際博覧会の主な機関・組織の最新状況

2020年ドバイ国際博覧会準備委員会（Expo 2020 Preparatory Committee）および2020年ドバイ国際博覧会事務局（Dubai Expo 2020 Bureau）など、ドバイ万博に関連する主な機関・組織では大きな変更はほとんどなかった。

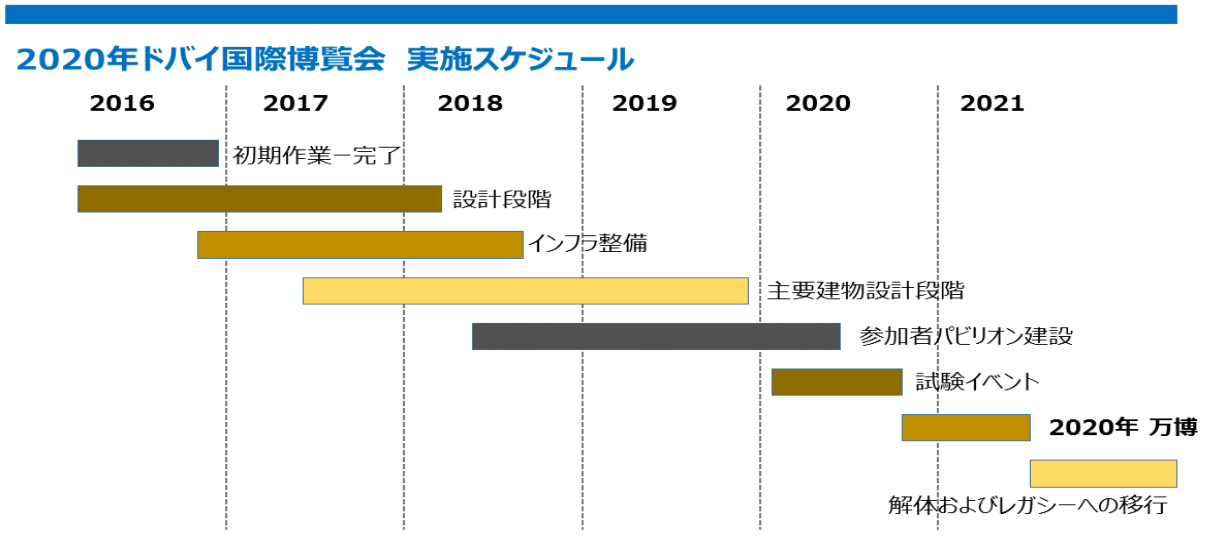
しかし2017年5月、Sheikh Mohammed bin Rashid Al Maktoum 殿下は、2020年ドバイ国際博覧会準備委員会の新メンバーに、ドバイ警察長官に新たに就任した Abdullah Khalifa Al Marri 少将を指名した。前長官の Khamis Mattar al-Mazeina 少将も同委員会のメンバーであったが、健康上の理由で他界した。

同委員会は2020年万博に関連する進捗状況の監督を担っており、現在のメンバーは以下のとおり。

- Sheikh Ahmed bin Saeed al-Maktoum 氏（準備委員会委員長）
民間航空庁長官およびエミレーツ航空・エミレーツグループ会長兼 CEO
(President of the Department of Civil Aviation and Chairman and Chief Executive of Emirates Airline and Group)
- Mohammed Ibrahim al-Shaibani 氏（準備委員会副委員長）
首長府長官（Director-General of the Ruler's Court）
- Reem al-Hashimy 氏
国務大臣（Minister of State）
- Hussain Nasser Lootah 氏
ドバイ政庁長官（Director-General of Dubai Municipality）
- Mattar al-Tayer 氏
道路交通庁長官兼事務局長
(Chairman of the Board and Executive Director of Roads & Transport Authority)
- Khalifa al-Zaffin 氏
Dubai Aviation City Corporation 常勤会長（Executive Chairman）
- Helal Saeed al-Marri 氏
ドバイ観光商務庁長官兼ドバイ・ワールド・トレード・センターCEO
(Director-General of Dubai Department of Tourism and Commerce Marketing and CEO of Dubai World Trade Centre)
- Abdullah Khalifa Al Marri 少将
ドバイ警察長官（Commander-in-Chief of Dubai Police）

2020年ドバイ国際博覧会プロジェクトの最新状況

以下リストは、前回レポート以降の直近数か月における新たな動きや、プロジェクト進捗状況に焦点を当てたものである。今回は紹介しなかった新たなプロジェクト発表に加え、情報を入手できた一部プロジェクトの最新状況も取り上げている。



出典：Dubai Expo 2020/Gulf News

ドバイ万博会場のテーマエリア

Al Futtaim Carillion は2017年3月、2020年万博会場の3つのテーマエリアの建設を22億ディルハム（約660億円：1ディルハムをおおむね30円として概算）で受注した。入札には同社の他34社が参加したとされている。3つのテーマエリア「オポチュニティ」「サステナビリティ」「モビリティ」には約136のパビリオンが設置され、さまざまな出展者が参加する。テーマエリアの床面積は222,000平方メートルにおよぶ。会場の掘削作業は完了したと伝えられており、テーマエリアの建設を進める準備が整った。

2020年万博会場のアルワスル・プラザ

2020年万博会場のアルワスル・プラザのデザイン計画が、2017年4月に発表された。同プラザは、万博の3つの主要テーマエリア「オポチュニティ」「サステナビリティ」「モビリティ」を中心に結ぶ拠点となるもので、高さは65メートル、直径は150メートルである。ルート2020と呼ばれるドバイ地下鉄延伸では中継点ともなり、万博会場へ来場者を直接運べるようになる。デザイン契約は **Adrian Smith + Gordon Gill Architecture (AS+GG)** が受注した。工事は2017年中に開始され、2019年第4四半期に完了する予定。

2020年ドバイ国際博覧会調達・入札スケジュール (Dubai Expo 2020 Procurement Tender Event Schedule) によると、アルワスル・プラザの模型制作請負業者の調達手続きは2017年6月、建設請負業者の調達手続きは本年12月に開始予定。

ムハンマド・ビン・ラッシード・アル・マクトゥーム太陽光発電所 (Mohammed bin Rashid Al Maktoum Solar Park)

ドバイ電気水道局 (Dubai Electricity and Water Authority (DEWA)) は2017年3月、2020年ドバイ国際博覧会と覚書 (MoU) を締結し、持続可能エネルギーのオフィシャルパートナーとなった。DEWA は2020年10月から万博閉幕の2021年4月まで、2020年ドバイ国際博覧会会場への水および電力の供給を担当するが、万博で消費する電力の一部は敷地内で発電する。

2020年万博では、電力ニーズの50%を再生可能エネルギー源でまかなうことを目指している。その目標達成のため、現在ムハンマド・ビン・ラッシード・アル・マクトゥーム太陽光発電所の開発を進めており、会場用に400メガワットの電力を生産できるようになる見込み。また、DEWA は132/11kVの変電所を3カ所建設中で、45キロメートルの132キロボルト (kV) の高圧ケーブルを布設する。プロジェクトの推定費用は約4億2000万ディルハム。

現在、事前資格審査を通過した業者による200MWの集光型太陽熱発電 (CSP) 所設備の第4期RFP (提案要請) 入札が行われており、提案書の締め切りは本年5月となっている。Shuaa Energy が本プロジェクトの所有者兼デベロッパーであり、DEWA は主要株主。その他、サウジアラビアのAcwa Power およびスペインのTSK が株主として名を連ねている。

ドバイ地下鉄延伸 (ルート2020)

アルストム (Alstom) が主幹事を務め、アクシオナ (Acciona) とグレルマック (Gulermack) も名を連ねる、地下鉄のレッドライン (ルート2020) の延伸を担うエキスポリンク・コンソーシアム (Expolink Consortium) は2017年3月、自動列車運転の信号技術契約をThalesに発注した。契約には統合、乗客サービス、運賃回収システム、セキュリティ、IT接続の改善も含まれる。

ルート2020の延伸工事は既に始まっており、本年4月の報道では、プロジェクトの7%が完了し、スケジュール通り進んでいるとされた。15キロメートルの延伸により、ナキールハーバー&タワー (Nakheel Harbour and Tower) 駅から万博会場までがつながる。これまでに、高架橋用の高さ7メートルの柱が少なくとも20本打設されたと伝えられている。

ルート2020は、2020年ドバイ国際博覧会開幕の5カ月前となる2020年5月までに運行開始予定。

ドバイ道路拡張 (Dubai Road Expansions)

とりわけ2020年の万博を見据えたドバイの交通渋滞緩和策の一環として、ドバイ道路交通庁 (Dubai Roads and Transport Authority (RTA)) は2017年3月、2つの道路拡張契約を契約価格12億ディルハムで発注した。契約内容には、Sheikh Zayed 道路の第7インターチェンジの建設と、ドバイのAl Yalayis 道路およびAl Asayel 道路の拡張工事が含まれる。道路開発および拡張工事の落札者名は明らかにされていない。道路が多くの人やドライバーを受け入れるに当たり、2020年の万博に先立ち道路を拡張することは不可欠である。

Meydan One Mall

Maydan Group は2017年5月、**Meydan One Mall** 建設契約を16億ディルハムで **Salini Impregilo** に発注した。一帯の大規模都市開発プロジェクトに組み込まれるこの新しいモールは、**Al Khail** 道路と **Meydan** の間に位置する。水路、港、地下鉄との接続などの開発も行われる。建設工事は2017年のいずれかの時点で開始され、工事期間は23カ月（1年11カ月）。同モールは、2020年ドバイ国際博覧会開幕前にオープンを予定している。

デイラ・アイランド/デイラ・モール (Deira Islands/Mall)

2017年4月、**デイラ・アイランド**開発関連プロジェクトを中心とした120億ディルハム規模の工事入札を、今年 **Nakheel** が行う予定であることが発表された。**デイラ・モール**プロジェクトに向け、**United Engineering Construction (Unec)** に発注された42億ディルハムの契約に加え、マンションと小売り店舗が並ぶ50億ディルハム規模の**デイラ・ブールバード (Deira Boulevard)** 計画が進行中。この新たなモールの広さは約1030万平方フィート（訳注：約96万平方メートル）で、およそ1000店舗の小売店と飲食店が入り、涼しい時期のために屋根は格納式とする。建設工事は2017年第3四半期に開始予定で、2020年ドバイ国際博覧会開幕に間に合うよう2020年までに完成する予定。

その他のリソース

透明性を確保し継続して情報提供するため、2020年ドバイ国際博覧会は以下の**調達・入札スケジュール**を定期的に更新、ウェブサイトにて公開している。調達区分、業務種別、進捗状況、2020年万博会場およびイベントのデザイン・建設・支援に関連する落札者に焦点を当てた文書となっている。下記リンク先の情報は、2017年3月時点のもの。今後の直接入札の準備や落札業者からの下請け機会について確認したい場合、関心のある業者は定期的にウェブサイトを確認すること。

2020年ドバイ国際博覧会調達・入札スケジュール：

<https://esource.expo2020dubai.ae/esop/uae-e20-host/public/attach/opportunities.pdf>

2020年ドバイ国際博覧会：
最新情報
2017年5月作成

日本貿易振興機構（ジェトロ）ものづくり産業部 環境・インフラ課
〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32
Tel. 03-3582-5542